



JTUC-aomori

No.391 2022年8月

れん とう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 大澤祥宏 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

悲惨な歴史を語り継ぎ、戦争を繰り返さないことを誓う

戦後77年「平和学習バスツアー」



「131名の犠牲者の冥福を祈念した
「青函連絡船戦災の碑」」

連合青森は1989年の結成以来、悲惨を極めた青森空襲を永遠に記憶し、「二度と再び戦争を繰り返さない」と誓い、「未来へつなぐ」ことを目的とし「7.28平和の集い」を継続開催してきた。今年度は7月16日(土)、昨年同様、青森空襲の歴史が残る施設等を巡るバスツアーを開催し、役員や青年委員会幹事など18名が参加し行われた。

このツアーは青森空襲で焼け残った建物や遺構、慰霊碑などを巡り、「青森空襲を記録する会」の今村修会長がその悲惨な歴史を説明する形で進められ、ツアー最後は多くの身元不明の遺体がトラックで次々と運び込まれ、茶毘に付され埋葬された三内霊園平和記念碑に黙とうを捧げることで終了した。

今村会長は「日清戦争から50年もの間に日本では多くの戦争があった。時の権力者たちの決断が歴史の分岐点をつくり、その影響は今なお残っている。現在のロシアによるウクライナ侵攻も同じこと。武力によって物事を解決しようとするやり方はあってはならない」と述べ、「77年前の惨劇を二度と起こしてはいけない。その意思を引き継ぐことが今を生きる人たちの務め」と語った。



「戦争の爪跡を残した遺品が並ぶ
「青森空襲資料常設展示室」」

2022年8月行動予定 8月10日現在

- 8月25日(木) 11時 県庁知事室
「2022青森県への政策要請」
- 8月26日(金) 14時00分 県労働福祉会館
「第2回男女平等参画推進委員会」
- 8月31日(水) 18時30分 オンライン
「第6回青年委員会幹事会」

2022年9月行動予定

- 9月2日(金) 13時30分 県労働福祉会館
「第7回四役会議」



連合青森推薦決定！

青森市議会議員選挙(定数32)

2022年10月30日に予定されている『青森市議会議員選挙』に向けて、連合青森は政策を共有する候補者を推薦しています。

連合青森第4回執行委員会(2022年5月13日開催)で、下記4名について連合青森組織内推薦候補者とすることを決定した。



蛭名 和子(えびな かずこ)

- ①昭和28年8月2日(69歳)
- ②現1期
- ③自治労
- ④立憲民主党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和47年3月 青森県立野辺地高等学校 卒業
- ・昭和47年4月 青森県庁 採用
- ・平成20年3月 青森県庁 勸奨退職
- ・平成22年5月 青森県職労組織拡大専門員 就任
- ・平成30年10月 青森市議会議員初当選



竹山 美虎(たけやま よしとら)

- ①昭和36年3月30日(61歳)
- ②現3期
- ③電力総連
- ④無所属

【最終学歴・職歴】

- ・昭和54年3月 青森県立田名部高等学校 卒業
- ・昭和54年4月 東北電力(株) 入社
- ・平成4年3月 東北電労青森県本部副委員長 就任
- ・平成13年10月 連合青森事務局長 就任
- ・平成18年10月 東北電労青森県本部委員長 就任
- ・平成22年10月 青森市議会議員初当選(現3期)
- ・令和3年3月 東北電力ネットワーク(株) 定年退職



奈良 祥孝(なら よしたか)

- ①昭和35年4月13日(62歳)
- ②現8期
- ③情報労連
- ④立憲民主党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和54年3月 青森県立青森北高等学校 卒業
- ・昭和54年4月 電電公社 入社
- ・平成2年2月 青森市議会議員初当選(現8期)
- ・平成13年3月 NTT東日本(株) 退社



藤田 誠(ふじた まこと)

- ①昭和28年7月16日(69歳)
- ②現3期
- ③自治労
- ④立憲民主党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和47年3月 青森県立青森工業高等学校 卒業
- ・昭和51年10月 青森市役所 採用
- ・平成19年10月 青森市職労執行委員長 就任
- 自治労県本部副執行委員長 就任
- ・平成21年12月 連合青森東青地協議長 就任
- ・平成22年10月 青森市議会議員初当選(現3期)

※①候補予定者生年月日、②当選回数、③出身(推薦)組織、④所属政党